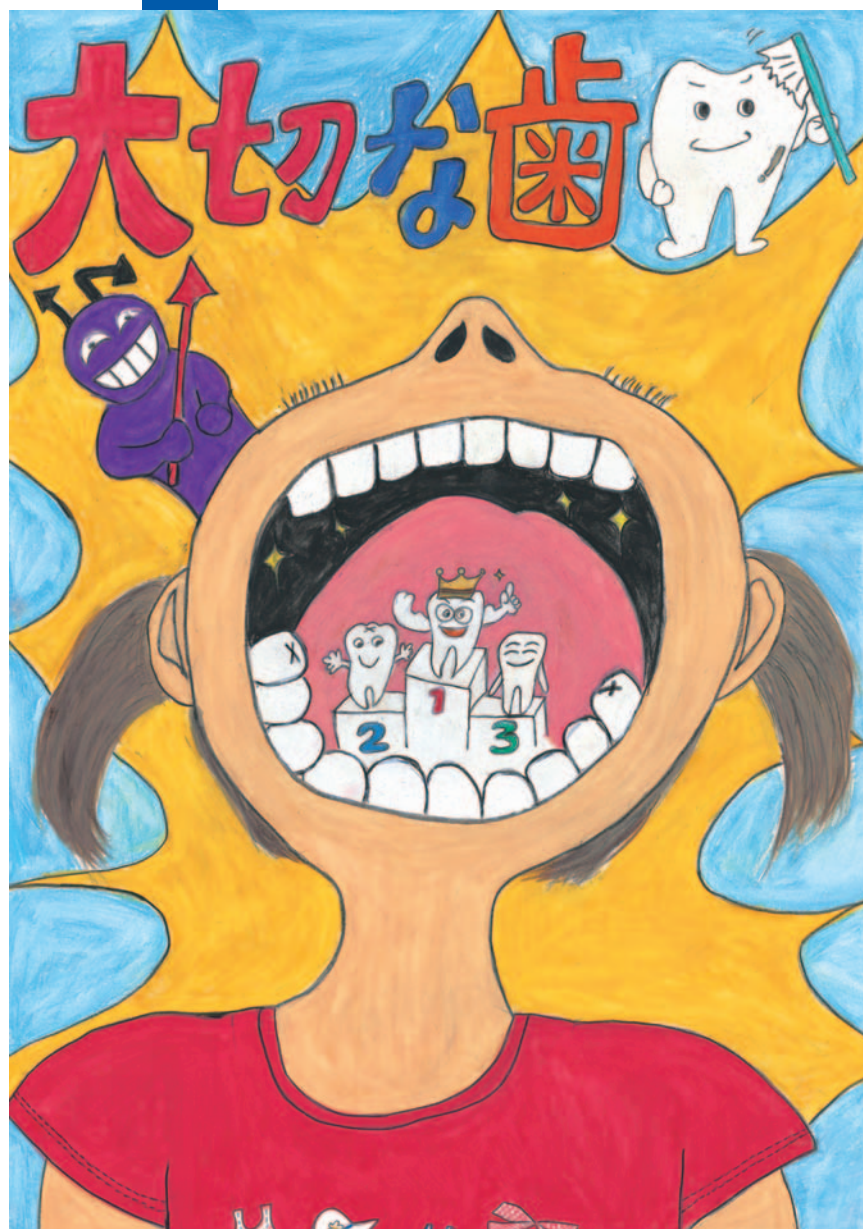


都学歯困広報

目次

●会長挨拶	川本 強	2
●平成24年度 役員職務分掌		3
●矯正専門医としてお話しします その3	4・5	3
●地区学校歯科医会会長からのメッセージ		4
●渋谷区歯科医師会（学校歯科医会）／ 滝野川学校歯科医会	6・7	7
●地区ニュース 足立／麻布赤坂	8	8
●こんなことが「学校歯科医執務記録」になります	8	8
●学校歯科医執務記録	9	9
●トピックス 平成24年度第1回参事会／平成24年度 第1回予算決算委員会／第67回評議員会・総会	10	10
●多摩ブロック学校歯科医連絡協議会開催について	11	11
●平成24年度 ブロック別学校歯科医研修会日程	12	12
●平成24年度 各種大会・研修会日程	12	12

TOGAKUSHI KOHO



社団法人 東京都学校歯科医会
〒102 東京都千代田区九段北4-1-20
-0073 TEL.03-3261-1675
<http://www.tasd.or.jp>
E-mail tasd@tasd.or.jp
発行人／鈴木 博
印刷／一世印刷株式会社

社団法人 東京都歯科医師会
平成23年度募集ポスター
足立区立竹ノ塚小学校 永吉 由依

104

2012. 6



ご挨拶

社団法人 東京都学校歯科医会

会 長 川 本 強

現在の執行部二期目に入りました。前期の二年間、一応の成果が挙げられたのではないかと考えておりますが、これは偏に東京都学校歯科医会の先生方、各学校の養護教諭の先生方、そして教育委員会の先生方のご協力の賜と深く感謝申し上げます。今期の我々執行部には成し遂げたいことが3つ程ございます。それは学校歯科保健事業の推進、味覚の調査研究および公益法人化に向けての準備であります。

「東京都学校（園）歯科保健推進事業」につきましては、まず東京都内に2校（園）を指定校として選出し、指定校の学校歯科医と東京都学校歯科医会の役員が密着協力して学校歯科保健事業を推進させようというものであります。勿論のこと該当校の校長先生、養護教諭そして東京都教育委員会の協力は不可欠であります。対象は幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・特別支援校であります。この事業が推進してまいりますと、指定校周辺の学校や園にも好影響が及ぼされること必至でありましょう。

「食育」とりわけ“味覚”の調査研究におきましては、過去にこのような調査研究が少ないことから、数多の難問が待ち受けていることと推察いたしております。インスタント味噌汁やインスタント食品が氾濫している現在、私達は便利さや時間を得る代償として何か大きな物を失ってはいないでしょうか。それを考えます時、いまここで伝統ある日本食の味を見極める味覚を振り返らなければ手遅れになるのではないかと危惧いたしております。日本の食文化を認識できる、継承できる子ども達であってもらいたいと願っております。

「法人改革」に関しましては評議員会におきまして、将来公益法人に向かうとの議決をいただいておりますが、現在の東京都学校歯科医会における事務処理能力を考えますと、今年度すぐさま公益法人化することには大きな不安を抱いております。ひとまず一般社団の中で公益法人と同等の会計処理を行い、事務処理能力を高めて公益法人化を目指したいと考えております。そのために公益法人会計に長けた会計担当理事を一名その仕事に専任していただき、公益法人化推進に寄与してもらう予定であります。

これらの事業が完遂されますには、東京都学校歯科医会の先生方そして私達を常日頃より支えていただいています多く先生方のご協力を頂かなければなりません。是非とも倍旧のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成24年度 役員職務分掌



総括
川本 強
(会長)



副総括・事業
由井 孝
(副会長)



学術
小嶋 憲
(副会長)



専務
鈴木 博
(専務理事)



渉外
高野 直久
(理事)



総務
渡邊 実
(理事)



会計
長沼 善美
(理事)



会計・法人改革
橋本 健一
(理事)



広報・HP
末高 英世
(理事)



事業 (チーフ)
吉澤 雄孝
(理事)



事業
酒井 克典
(理事)



事業
中村 卓志
(理事)



事業
高橋 文夫
(理事)



学術 (チーフ)
長井 博昭
(理事)



学術・事業
東川 輝子
(理事)



学術
澤田 章司
(理事)



学術
牧野 寛
(理事)



監査
難波 昭一
(監事)



監査
荒木 良子
(監事)

事務局



海保由美子



山内 近子

矯正専門医としてお話します その3

専務理事 鈴木 博

この春、東京都学校歯科医会はリーフレット『学校歯科保健活動の場での“気づき”から生まれる「個」への対応』をお手元にお送りいたしました。今年健康診断の際にも診断の基準に当てはまらない様々な気づきがあったのではないのでしょうか。

さて、対応が難しいといわれている不正咬合ですが、その診断基準につきましては日本学校歯科医会から発行されている「学校歯科医の活動指針」に記載されています。これは形態的特徴に着目したものです。この診断基準と齟齬があてはまらないということで、私としては重要と感じながらも、今回のリーフレットには収載されなかった不正咬合の症状があるのです。

ここであえて誤解を恐れず、不正咬合を形態とは別の視点から見た時の“気づき”として少しご紹介したいと思います。

例えば定期健康診断時にケース1のような症状をどのように診断されるでしょう。

ケース1



正面観



右側方

3歯以上の反対咬合ではなく、著しい異常という所見ではありません。おそらく診断は1か備考欄にメモを残されるかもしれません。それではケース2ではどうでしょう。

ケース2



正面観



右側方

これも3歯以上の反対咬合ではありません。でもこの症状は明らかに健康な状態とはいえません。矯正学的には機能的な要因が認められると表現します。側方歯交換の前後にあたる成長誘導期には機能面の改善、言い換えれば、普通に噛めるように口腔内の環境を整えることを矯正治療の目的としますので、このような症状を私は治療の対象として捉えています。右側の中切歯は切端咬合が可能でしたので、もしかするとケース1くらいの時点で、ちょっとした個別指導をしていれば回避できた可能性もあります。

逆にこのまま放置するとケース3、ケース4のように、切歯部の深いクロスバイトが完成して、咬合性外傷の症状にもつながっていく場合もありそうです。

ケース3



正面観



右側方

ケース4



正面観



右側方

「気づき」の重要なことは、重症化する前に手が打てる可能性を持っている点ではないでしょうか。もしかするとそれが不正咬合の事後措置にはもっとも有用なことかもしれません。

最後に前述の「学校歯科医の活動指針」のなかで、組織活動の項目にあるお気に入りの文章を抜粋し、今回の稿を閉じさせていただきます。

『学校歯科医は、事後措置をすべてかかりつけ歯科医に委ねてはならない。それでは学校歯科医の責任を果たしていることにはならない。学校歯科医はCO・GO等注意深く観察指導する必要のある子どもに対し、一定期間後に臨時の健康診断を行ってその状態を観察し、個々の状況に応じた生活習慣改善や清掃法を指導したり、あるいは健康相談を行うなどの事後措置を行わねばならない。(中略)』

学校歯科医がこうした責任を果たし、かかりつけ歯科医が子ども個々の状況に応じて学校歯科医と密に連携をとって診療室で管理していく。この連携によってはじめて「卒業後も自己管理と定期的な専門的管理を自発的に行える子どもの育成」がなされるのである。』

地区学校歯科医会会長からのメッセージ

公益社団法人 渋谷区歯科医師会（学校歯科医会）

副会長 松野 修次

渋谷区学校歯科医会は平成22年に創立60周年を迎えました。平成23年11月24日に渋谷・東武ホテルにおいて創立60周年記念式典、記念講演会、祝宴とシンポジウム（テーマ「連携」）を挙行いたしました。当日はご来賓として、東京都学校歯科医会会長・川本 強様、渋谷区長・桑原敏武様、渋谷区教育委員会委員長・小野ヒサ子様、渋谷区教育長・池山世津子様、渋谷区学校保健会・会長伊村欣祐様、渋谷区保健会薬剤師会部長・野本幸治様他教育委員会次長、課長、係長、渋谷区小学校校長会会長・熱田和彦様、東京都学校歯科医会城西ブロック各会長（杉並会長・小川 学様、新宿区会長・石川博基様、牛込会長・栗原真人様、中野会長・浜田常二様）、記念講演会講師・東京医科歯科大学大学院う蝕抑制学分野特任講師・中嶋省志様、および社団法人渋谷区歯科医師会から会長・坂本眞理子様の多くの方々にご臨席いただきました。記念式典に先立って行われました記念講演会では、中嶋 省志先生に「ライフステージにおけるフッ素の応用と安全性ー学校歯科保健指導の中でのフッ素の応用ー」というテーマでご講演いただきました。記念講演には学校から多くの校長先生初め養護教諭の先生方にもご参加いただきましたが、日頃の学校歯科保健活動に大変役立つ示唆に富んだお話で感銘を受けました。

祝宴の中でシンポジウムを行いました。東京都学校歯科医会のブロック、地域、行政、学校（校長先生・養護教諭）、学校歯科医とさまざまな立場からの「連携」という大きなテーマで貴重なお話をいただきましたので今後の活動に生かしていきたいように努力していきたいと思いました。ご列席いただきました諸先生方には心より感謝申し上げます。

渋谷区歯科医師会が平成24年4月1日より公益社団法人へ移行いたしました。それに伴いまして



渋谷区学校歯科医会は歯科医師会内部に統合され「公益社団法人渋谷区歯科医師会 学校歯科医会」に組織替えをいたしました。また、平成23年4月より区立保育園の保育園歯科医制度がスタートし、平成24年4月よりは私立保育園の保育園歯科医制度もスタートいたしました。幼保一元化施設につきましては3年前にスタートし、すでに今までの学校歯科医会の中に属していました。また、渋谷区では小中一貫校が新たにできました。今までの小学校2校と中学校1校が統廃合され小中一貫校となりました。幼稚園が1園廃園になり小中一貫校に継続する幼稚園が新設となりました。新制度のもとでは、小中部と幼保部で学校歯科医会となり、歯科医師会会長、副会長、専務、担当理事（地域保健）、および小中部と幼保部の各部からの幹事で役員会が構成されています。学校歯科医は固定制から輪番制になり、新制度に従来の良い点は生かし、スタートいたしました。

平成24年3月には、今までの学校歯科医会の総決算として、渋谷東急インにおいて、総会後「元会長を囲む会」として長年にわたり貢献された先生方への慰労と感謝を表す会を催しました。過去に渋谷区学校歯科医会40周年記念誌、50年誌と発行いたしましたので、その後の10年の記録と61年のまとめに携わっているところです。現況は、区立小学校18校、区立中学校7校、小中一貫校1校、区立幼稚園4園、区立幼保一元化施設2園、区立保育園20園、私立保育園10園、合計62校（園）です。校医・園医は重なりなどありますので、現在54名になりました。今後は成長期の乳幼児から児童・生徒への健康診断や一貫した効果的な歯科保健指導・教育に取り組んでいきたいと考えています。

滝野川学校歯科医会

会長 江口 淳一



東京都滝野川学校歯科医会は北区滝野川地区の公立幼稚園1園、小学校11校、中学校3校、及び都立王子総合高校の計16校（平成24年4月現在）の学校（園）歯科医16名により構成されています。

学校歯科医会の目的は、園児、児童、生徒の歯・口の健康を通して歯科保健の普及、発達と研究に努めることです。その目的を達成するために、

- ①園児、児童、生徒の歯予防、口腔衛生対策の研究と指導
- ②学校歯科医の研修と指導に関する教育
- ③学校歯科保健大会に協力
- ④学校保健行政ならびに関係団体への協力
- ⑤学校保健に関する調査・研究
- ⑥保健教育の実践ならびに学校保健事業の推進などの事業を行っています。

具体的には、各園・学校では定期健康診断や小学校での就学児検診、歯科講話や口腔衛生についての指導などの実施、学校保健委員会への協力、参加など各園・学校ごとに必要な歯科保健活動をしています。行政との協力としては「北区よい歯の園児、児童、生徒」の選出及び表彰を、北区ならびに滝野川・北各歯科医師会と協力して行っています。

毎年2月には『北区学校歯科保健協議会』を北区学校歯科医会とともに開催し、児童、生徒の保護者の方々、養護教諭、北区、教育委員会、学校歯科医を対象に学校歯科に関する講習会を実施しています。平成23年度には「健康寿命をのばす歯科健康保険医療」という演題で、首都大学東京大学の星旦二教授をお招きして、QOL向上を目指す口腔ケアと健康寿命についての講演会を開催し

ました。

また3月には学校歯科医対象の『北区学校歯科医研修会』をやはり北学校歯科医会とともに開催しています。平成23年度は「学校歯科医としてのコンセンサスについて」という演題で、3名の会員がパネラーとなり発表およびディスカッションをし、学校歯科医としての研鑽を高めております。

北区学校保健会では北学校歯科医会とともに歯科医部会として参加し、北区学校保健大会や研修会、総会、理事会などに協力、参加しています。

また、B地区学校保健協議会という研修会が北区・文京区・台東区・荒川区の4地区学校保健会が順番に幹事区となり、提案協議2題と特別講演という内容で毎年開催されています。平成23年度は、北区が主催でしたので準備会から参加しました。12月8日の開催当日は雨にもかかわらず多くの方に参加して頂き、特別講師に、ちば心理教育研究所所長の光元和憲先生をお招きして『子どもたちへの言葉のプレゼント～アニメ「となりのトトロ」を題材に～」という講演を頂戴しました。

さらに日本ならびに東京都学校歯科医会が主催する全国（毎年秋）ならびに東京都（毎年2月）学校歯科保健研究大会や、全国学校保健研究大会等の各種大会、ならびに研修会、各種会議にも協力、参加しています。

当会が直面している問題としては、少子高齢化があります。学校歯科医は北区との取り決めにより75歳定年制をとっています。また少子化にともない学校の適正配置計画が進められていて、平成20年と21年に中学校が1校ずつ統合され、現在の3校に減少しました。

会の規模は、今後も統廃合の計画が進められると、だんだん小さくなってしまいますが、園児、児童、生徒の歯と口の健康を守るために、学校歯科医全員で力を合わせていく所存です。

会費の見直しについて

足立

昨今、どんな業界でも経費の削減がうたわれています。足立区でも昔と違う今の現実の学校歯科医会の存続を考え、一年間、会費の見直しを模索し続け今年度より、22000円から12000円に、1万円の減額をしまし

た。具体的には、インターネットの利用による連絡経費の削減、大会派遣経費の見直し、理事人数の見直しからです。今期からの始動ですので、まだ実際の会計報告はできませんが、会務は今まで以上に遂行しつつ効率の良い、会員が役員になりたいと思える会にしていきたいと思います。今回見直しにあたり、いくつかの学校歯科医会の会計を参考のために、拝見させていただきましたし、他地区のお役に立ちたいので、なんなりとお尋ね下さい。（米澤 聡）

麻布赤坂学校歯科医会 基礎研修会

麻布赤坂

平成23年11月14日、麻布赤坂歯科医師会事務所において麻布赤坂学校歯科医会基礎研修会が行われた。今回のテーマは「学校健診におけるCO、GOのキャリブレーション」であった。まず、朝倉健太郎理事より研修の手順の説明が行われ、その後各自が抜去歯を用いカリエスの判定を行った。その全員の判定結果を集計している間に、カリエス・歯肉炎の判定基準について朝倉理事より説明を行い、次に清水浩一理事より歯列・咬合、顎関節などの判定基準について説明を行った。カリエス判定においてのCO要精検については養護教諭と良く打ち合わせをして判定するように、歯



列・咬合や顎関節についてはなるべく保健調査票などを用いたほうがよいのではないかとの話であった。最後に各自が全員の判定結果と比較して自分の傾向がどのようなになっているのか確認を行った。

今回の目的は判定基準の確認と、各自の判定の傾向を知ることによって学校健診のレベルの均一化を図ることにあります。今後は年に1度はこのような研修会を行う予定です。（清水浩一）

● こんなことが「学校歯科医執務記録」になります ●

学校歯科医執務記録は学校保健法施行規則で「学校歯科医が職務に従事したときはその職務を学校歯科医執務記録簿に記入し校長に提出する」と定められています。

学校に出向いての執務はもちろんですが、

- ①校外施設での指導
- ②学校における学校保健に関する各種会合
- ③（教育委員会主催等）指定された研修会、講演会への参加
- ④（教育委員会主催等）指定された大会、学会等への参加
- ⑤養護教諭や学級担任からの相談（電話、メール等）
- ⑥診療所に来訪した児童・生徒の保健指導

なども執務とみなされます。

※①～④は「出勤」、⑤、⑥は「協力」になります。

なお、執務記録の「8. 学校行事に参加」には入学式、卒業式、周年事業、運動会、学芸会、PTA、学校保健委員会等も含まれます。

個別のケースについては、所管の教育委員会にお問い合わせください。

学校保健に関する歯科医師会などの理事会・委員会への参加そのものは「出勤」になりません。来校して学校保健の内容を情報提供することが「出勤」になります。また、電話・ファクシミリ等で学校保健の内容を学校歯科医が直接に学校へ情報提供することは「協力」になります。執務記録に記載してください。

9 ページの執務記録をコピーしてお使い下さい。

認 印 欄	(学校長)
-------------	-------

年 月 日

学 校 歯 科 医 執 務 記 録

		執務者氏名	⑩
執務日時	月 日 () 午前・午後 全 日	執 務 場 所	学校, 診療所 (来訪電話等), 研修会, 大会, その他 ()
執 務 の 概 要			
項 目		記 事	
1 学校保健委員会等 (1) 学校保健計画立案 (2) その他			
2 定期健康診断			
3 就学時健康診断			
4 臨時健康診断			
5 健康相談及び健康指導 (1) 健康講話 (2) 相談 (3) 健康指導 (4) その他		特 記 事 項	
6 学校保健に関する研修会, 大会等			
7 授業参加			
8 学校行事に参加			
9 その他 (1) 救急時の処置 (2) フッ素塗布 (3) その他			

注意事項

- 1 学校歯科医は, 職務に従事したとき, その状況をこの執務記録に記入し, 校長に提出してください。
- 2 この執務記録は, 執務日ごとに記入してください。1日のうちで執務が数種にわたる時でも, 1枚にまとめて記入してください。
- 3 学校以外の場所で執務した時は, 出校時に記入してください。

トピックス////

平成24年度第1回参事会

平成24年5月10日（木）16時より歯科医師会館3階会議室において、平成24年度第1回参事会が開催されました。鈴木専務理事の司会のもと由井副会長が開催を宣言し、川本会長が挨拶を行いました。次に来賓として、東京都教育庁地域教育支援部歯科保健担当・五十里一秋課長、日学歯・中田郁平会長、都歯・浅野紀元会長、都歯連盟・大曾根正史会長がそれぞれ挨拶をされました。恒例により川本会長が座長となり、①第67回評議員会・総会の開催について②学校歯科保健優良校表彰および歯の作文募集について③平成24年度ブロック別研修会について④学校保健（学校歯科医）研修会・学校歯科医基礎研修会について⑤各種大会・研



修会日程について⑥代議員の選出について⑦その他が報告されました。最後に小嶋副会長が閉会を述べました。

トピックス////

平成24年度第1回予算決算特別委員会

平成24年度第1回予算決算特別委員会が平成24年4月19日（木）歯科医師会館2階会議室で行われました。オブザーバーとして望月議長、藤野副議長の出席のもと、第67回評議員会に上程される以下のことが審議されました。審議事項として第1号議案「平成23年度の事業報告」第2号議案「平成23年度収支決算並びに財産目録」第3号議案「平成24年度収支補正予算」について審議され、了承されました。



トピックス////

第67回評議員会・総会

平成24年5月24日（木）15時より歯科医師会館3階会議室において評議員会が開催されました。鈴木専務理事の司会のもと由井副会長が開会を宣言されたのち、点呼により評議員69名の中、62名（予備評議員6名）出席で定数に達しました。

川本会長挨拶では平成25年4月に新法人へ移行するので、会員の先生方に協力をお願いしたいと話されました。

次に来賓の日本学校歯科医会・中田郁平会長、東京都歯科医師会・浅野紀元会長、最後に東京都歯科医師連盟の大曾根正史会長が挨拶をされました。

議長・副議長の選出では議長に練馬の望月評議員、副議長に麻布赤坂の藤野評議員が選出されました、次に議事録署名人に向島の三好評議員、中野の大竹評議員が選出されました。

会務報告を渡邊総務担当理事が行い、次に会計の長沼理事より会計現況報告され、次に日本学校歯科医会第80回総会報告が中村代表会員によってなされました。以上の報告承認事項について質疑がなされ、評議員の賛同を経て了承され、議事に移りました。

- 第1号議案 社団法人東京都学校歯科医会平成23年度事業報告
- 第2号議案 社団法人東京都学校歯科医会平成23年度収支決算並びに財産目録
- 第3号議案 社団法人東京都学校歯科医会平成24年度収支補正予算
- 第4号議案 予算決算特別委員会委員および予備委員の選任
- 第5号議案 日本学校歯科医会代表会員および予備代表会員選任
- 第6号議案 名誉会長及び顧問の推戴



鈴木専務理事より第1号議案の説明がなされ、また長沼会計担当理事より、第2号議案が説明され、荒木監事より監査報告がなされた後、予算決算特別委員会の松浦委員長が報告をされました。以上一括上程され、質疑要望を経て、評議員の挙手多数により第1号議案および第2号議案が可決承認されました。第3号議案の収支補正予算では長沼会計担当理事が説明をされ挙手多数で可決承認されました。第4号議案、第5号議案も一括上程され鈴木専務理事より説明され、議長・副議長に一任することが挙手多数で可決承認されました。

第6号議案 名誉会長及び顧問の推戴に関して、名誉会長に西連寺愛憲氏が顧問に櫻井善忠氏が推戴され全員一致で可決承認されました。

最後に小嶋副会長が閉会の辞を述べ終了致しました。

評議員会終了後、引き続き第67回総会が開催され、小嶋副会長が開会を宣言し、点呼に入り、委任状を含め1044名（会員数2068名）が参加し、評議員会で承認された第1号議案から第6号議案の承認事項が拍手によって賛同されました。

次に議事事項として第1号議案 定款の変更が上程され、2、3の質問の後採決に入り可決され、由井副会長が閉会を述べ終了いたしました。

多摩ブロック学校歯科医連絡協議会開催について

事業部ブロック別対応 理事 酒井 克典

昨年度の都学歯広報誌No.102(2011.11)でもお知らせ致しましたように、暫定的に多摩ブロックを3つに分割し協議会を開催させて頂きました。

多摩ブロック③6地区(東京都学校歯科医会以下都学歯、会員186名)の協議会が、平成23年11月26日(土)18時より西多摩歯科医師会館で、西多摩歯科医師会副会長小澤庄二都学歯評議員の司会で開催された。担当地区岩永克美西多摩歯科医師会会長、主催者由井孝都学歯副会長の挨拶に始まり、出席者が紹介された。講演は、羽村市井上雄温日本小児歯科学会理事、同関東地方会会長による「知っておきたい永久歯硬組織の異常」がなされた。協議に移り、座長は西多摩歯科医師会理事吉澤雄孝都学歯理事が、事前アンケートを基に各地区の報告をし、各地区から随時質問・回答がなされ情報の共有化をした。その他の参加者は、昭島市学校歯科医会村山恒夫会長、初道守久監事。国立市歯科医師会松浦孝志会長、国分寺市学校歯科医会村田典子学校保健部担当理事、府中市歯科医師会高木栄太郎学校歯科委員会担当理事。ご欠席は、立川市学校歯科医会、東大和市学校歯科医会、武蔵村山市学校歯科医会でした。

多摩ブロック①11地区(都学歯会員170名)の協議会が、平成24年2月18日(土)18時より府中市歯科医師会館で、府中市歯科医師会学校歯科担当理事高木栄太郎都学歯評議員の司会のもと、府中市歯科医師会野間秀郎副会長の開会の辞で開催された。担当地区府中市歯科医師会会長杉田廣己都学歯参事、主催者川本強都学歯会長の挨拶に始まり、出席者が紹介された。講演は、府中市学校歯科委員会副委員長酒井克典都学歯理事による



「府中市の学校歯科保健の取組」がなされた。協議に移り、座長は早川博之学校歯科委員長が、事前アンケートを基に各地区の報告をし、各地区から随時質問・回答がなされ情報の共有化をした。その他の参加者は、三鷹市歯科医師会櫻井正治会長、学校歯科担当理事竹下敦都学歯参事。東久留米市歯科医師会鈴木晋久会長、田口耕平学校歯科医会副会長、上升康司学校歯科医会学術担当理事。東村山市歯科医師会副会長小西勇人学校歯科医会会長、西東京市歯科医師会田中太平学校歯科部担当理事、調布市学校歯科医会目黒英朗副会長、澤悦夫専務理事、川崎潤一学術担当理事、宮木了監事。狛江市学校歯科医会塩谷達昭副会長。小平歯科医師会鶴田淳学校歯科担当理事。武蔵野市歯科医師会森田邦夫副会長、岩崎克彦専務、西澤英三地域保健担当理事。小金井市歯科医師会黒米哲也専務理事、岡一輝学術担当理事。ご欠席は清瀬市学校歯科部会でした。

多摩ブロック②4地区(都学歯会員228名)は、平成24年6月30日(土)18時より八王子生涯学習センター「クリエイトホール」にて、八王子歯科医会のご協力のもと、開催される予定をしております。



平成24年度 ブロック別学校歯科医研修会日程

	城南ブロック	城北ブロック	多摩ブロック
日時	H24年9月13日（木） 18：00～20：30 集合 18：00～ 開会 18：30～	H24年10月18日（木） 18：00～20：30 集合 18：00～ 開会 18：30～	H24年11月15日（木） 18：00～20：30 集合 18：00～ 開会 18：30～
会場	・梅丘パークホール 北沢区民会館別館 （世田谷区松原6-4-1） ・TEL 5300-3220 ・最寄駅 梅が丘駅 ○小田急線	・豊島区歯科医師会館 （豊島区南大塚2-37-1） ・TEL 3946-7696 ・最寄駅 大塚駅 ○JR	・府中グリーンプラザ 6階大会議室 （府中市府中町1-1-1） ・TEL 042-360-3311 ・最寄駅 府中駅 ○京王線
演題	「学校歯科保健活動の場での “気づき”から生まれる「個」 への対応」 ◇講師 東京都学校歯科医会 理事 長井 博昭	「学校歯科保健活動の場での “気づき”から生まれる「個」 への対応」 ◇講師 東京都学校歯科医会 理事 澤田 章司	「学校歯科保健活動の場での “気づき”から生まれる「個」 への対応」 ◇講師 東京都学校歯科医会 理事 東川 輝子
責 任 者 区	・世田谷 吉田 慶造 03-3427-7333	・豊 島 花香 政人 03-3949-3440	・府 中 杉田 廣己 042-361-0777

平成24年度 各種大会・研修会日程

- | | | |
|------------------------|-----------------------|---------------------|
| ■ 第69回 学童歯みがき大会 | 平成24年6月4日（月） | インターネット |
| ■ 平成24年度学校保健（学校歯科医）研修会 | 平成24年7月19日（木） | 東京都教職員研修センター |
| ■ 学校歯科医基礎研修会 | 平成24年7月19日（木） | 東京都教職員研修センター |
| ■ 第63回 関東甲信越静学校保健大会 | } 平成24年8月2日（木） | 埼玉県さいたま市「大宮ソニックシティ」 |
| ■ 第63回 “ 歯科職域部会 | | |
| ■ 第76回 全国学校歯科保健研究大会 | 平成24年10月25日（木）・26日（金） | 群馬県高崎市「群馬音楽センター」 |
| ■ 第62回 全国学校保健研究大会 | } 平成24年11月8日（木）・9日（金） | 熊本県熊本市 |
| ■ 第62回 “ 学校歯科医協議会 | | |
| ■ 平成24年度健康づくりフォーラム | 平成24年12月20日（木） | 都庁 |
| ■ 第47回 東京都学校歯科保健研究大会 | 平成25年2月7日（木） | 文京シビック小ホール |